

平成 24 年 3 月 12 日発表

長崎市教育委員会

長崎市科学館【指定管理者：長崎ダイヤモンドスタッフ(株)】

長崎市から県内 2 つ目の恐竜化石が発見されました

福井県立恐竜博物館は、このたび、長崎市科学館の協力のもと長崎県長崎市北浦町（茂木地区）の海岸から白亜紀後期の地層（恐らく三ツ瀬層に相当）から恐竜の化石を発見しました。

1 発見化石 鳥脚類の右大腿骨上半部

大きさからは全長 6 m 程度の鳥脚類のものと考えられ、ハドロサウルス科に属する可能性が高い。

2 発見場所 長崎県長崎市北浦町（茂木地区）の海岸

3 特記事項 長崎県初の恐竜化石は長崎半島（野母崎）の西海岸に分布する三ツ瀬層（約 8400 万年前と推定）から発見されている。（ハドロサウルス科の左大腿骨遠位部：平成 22 年 7 月公表）

このため、今回の化石は、長崎県から発見された 2 つ目の恐竜化石となります。

【福井県立恐竜博物館作成資料より】

第二の長崎産恐竜化石について

長崎市と福井県立恐竜博物館は、長崎県において二番目の発見となる恐竜化石を上記の予定で一般に初公開する。化石は長崎市北浦町（茂木地区）の海岸に露出する白亜紀後期の地層（恐らく三ツ瀬層に相当）から産出したもので、平成 23 年 4 月 17 ～ 19 日にかけて長崎市科学館と福井県立恐竜博物館が発掘した。その後、福井県立恐竜博物館が化石クリーニング作業と鑑定を進めた。化石は鳥脚類（二足歩行の植物食恐竜）の右大腿骨の上半部であり、やや押しつぶされているものの、骨盤への関節部（大腿骨骨頭部）や筋肉が付着する突起などを伴い、保存は良い。化石の長さは約 41 cm、骨頭部での幅は約 23 cm、大腿骨軸部の幅は約 14 cm ある。その大きさからは全長 6 m 程度の鳥脚類のものと考えられ、ハドロサウルス科に属する可能性が高い。

長崎初の恐竜化石（ハドロサウルス科の左大腿骨遠位部：平成 22 年 7 月公表）が長崎半島（野母崎）の西海岸に分布する三ツ瀬層（約 8400 万年前と推定）から産出している。今回の化石は異なる場所から発見された別個体の化石であり、長崎市周辺に恐竜化石が続けて発見される可能性を示している。



産出した長崎市北浦町産出の大腿骨化石。左から順に化石の前方、外側方、後方。

(画像提供：長崎市教育委員会／福井県立恐竜博物館)